

～命をまもる安全・安心のまち大東市に～



近年、私たちは、令和6年1月1日に発生した能登半島地震、そして新型コロナウイルス感染症の感染拡大という二つの大きな困難を経験してきました。これらの出来事は、私たちの日常生活がいかに自然災害や予期せぬ危機に脅かされるかを改めて実感させるものでした。

さらに、今後30年以内に80%程度という極めて高い確率で発生が危惧されている南海トラフ巨大地震は、本市にも大きな影響を及ぼす可能性があります。

このような状況において、命を守る最大の鍵となるのは、事前に備え、迅速に対応するための「情報」と「行動」です。

そのため、皆様には、自分や家族の命と財産を守るために自分自身や家族全員で備える「自助」と、地域社会の被害を減らすために地域が一丸となって助け合う「共助」に取り組んでいただきたいと思います。

こうした取り組みをさらに推進していくため、この度、内水ハザードマップを加えた最新のハザード情報や具体的な避難所運営の様子、ペット同行避難などの内容を盛り込み、総合防災マップを改訂いたしました。

皆様でご覧いただき、日頃の備えにご活用ください。

また、私たちが直面する災害は、自然災害に限りません。感染症への対応や高齢化社会における地域力の強化など、さまざまな課題に備えることも重要です。

防災においても隣人や地域の協力が不可欠です。日頃から地域でのつながりを深め、助け合いの精神を育むことが、より強い地域社会を築くことにつながります。

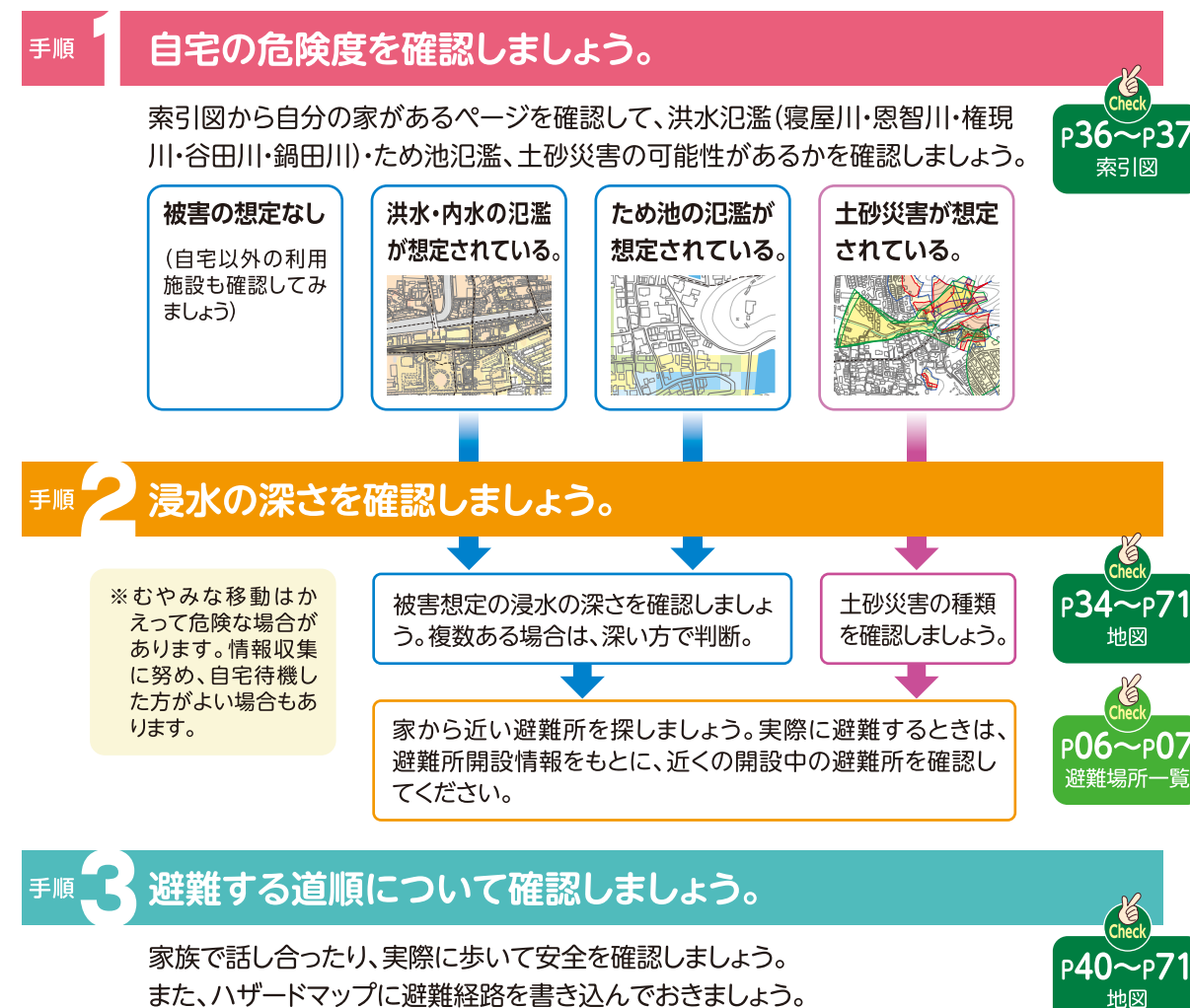
本市は、これからも市民の皆様の安全・安心を最優先に、防災対策のさらなる充実に取り組んでまいります。この防災マップが、皆様の命を守る力となり、災害時の冷静な判断にお役立ていただけることを心より願っております。

大東市長 逢坂 伸子

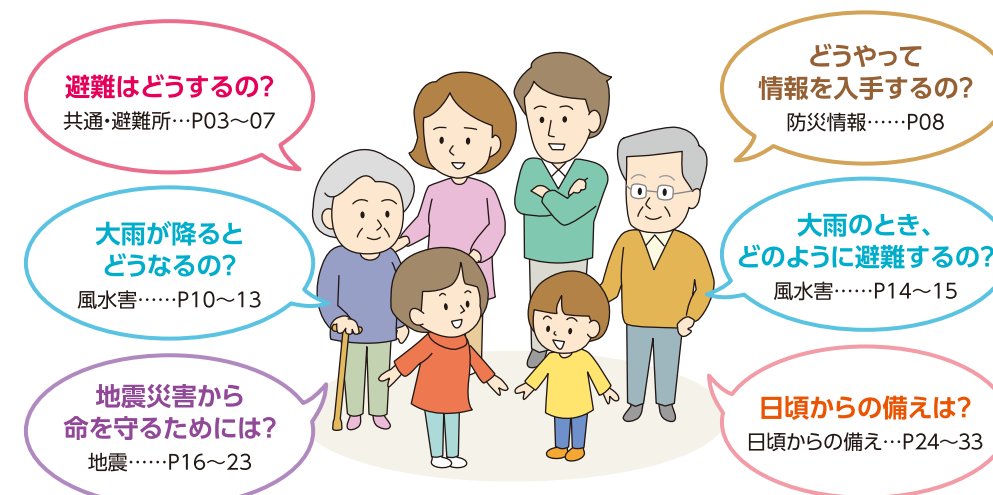
水害ハザードマップの見方

このフローに従ってハザードマップを確認し、普段から災害時に自分が取るべき行動を考えておきましょう。

※マップに示した浸水の広がる範囲や深さは、計算結果によるものであり、雨の降り方によっては、浸水の想定されていない地域で浸水したり、想定される深さが実際の深さとは異なる場合があります。



あなたと家族は大丈夫？



■ご利用にあたって

「大東市総合防災マップ」は、大東市民のための防災情報誌です。なお、本誌に掲載されている情報は令和7年3月現在、地図は令和6年6月に調整した大東市地図データをもとに作成しています。その後の変更と掲載内容が異なる場合がありますので、最新の情報は市のウェブサイトでご確認ください。

